



あなたの参加で住みよいまちに!

方法はいろいろ。でも、一つ一つが、みんなのためになる活動ですよ。

おうちで参加タイプ

ひとりで家で参加する

区報などの広報は、身近な地域情報の宝庫です。大事な情報もあるし、結構お得な情報が詰まっています。区のインターネットホームページも充実していて、区役所がどんな仕事をしているのかわかります。また、情報を得るだけでなく、自分の意見を発信する方法もあります。

- お知らせ型**
区報やお知らせを読む
行政のホームページを見る
地域のCATVを見る
地元の情報誌などを読む
- 意見提出型**
選挙に参加する
モニターになる
意見を出す
(パブリックコメントなど)

パブリシティ

新聞やテレビなどのマスコミで、練馬区内のニュースを見ることがあります。実は、区が積極的に報道発表(パブリシティ)した情報をもとに取材され、取り上げられていることも多いのです。練馬区が報道発表した内容は、ホームページでも見られますよ。

練馬区役所
ホームページ
<http://www.city.nerima.tokyo.jp/>

技あり参加タイプ

趣味や特技で参加する

「ボランティア」「NPO」は、自分には関係ないと思いませんか？最近では、自分の得意技や趣味を地域に活かした活動をする人が増えています。あなたの特技を地域で役立ててみませんか？

好きなパソコンでボランティア

～NPO法人「練馬ばそぼらん」スタッフ 吉野泰恵さん～

何かしたいと探しているときに練馬ばそぼらんのことを知り、「見学に行こう」として障害者のために教えるボランティアと知り、参加することに決めました。最初は「話だけでもいいから」と言われて参加しましたが、やればいける話だけでなく、サポートもあって、参加しやすかったです。最初は「話だけでもいいから」と言われて参加しましたが、やればいける話だけでなく、サポートもあって、参加しやすかったです。

区とNPOの協働
NPO(非営利組織、民間非営利団体)は、社会の様々な課題に主体的に取り組んでいる民間の組織です。多様性や先駆性、柔軟性などの特性があり、区と協働することで、多様なニーズに沿った公共サービスが可能になると、期待されています。

ご近所参加タイプ

地域や近所で参加する

ご近所の活動には、町会・自治会等の地域の活動だけでなく、身近な公園やみどりに関わる活動、学校を拠点とした活動などいろいろあります。やればやっただけ達成感もあるし、仲間もできるし、自分のまちでの生活が楽しくなります。

“おやじ”が学校で活躍!

～練中おやじの会、OB会のみなさん～

練馬中学校横にある農園で「農園で採れた大根を運動会のPTA競賞品の賞品として、枝豆やとうもろこしを春日神社のお祭りや売上げを卒業記念講演会など学校行事の支援に活用している」という練中おやじの会のみなさん、無理せず、楽しみながら参加しているそうです。おやじの会は、おやじの会をどうつづけていくか、おやじの会が増えたら、直接注意しなくても子ども達に伝わった「子どもをネタに地元で飲める」「中学生になり地元の先輩も先輩になり、親子で成長させる」というおやじの会への思いが、子ども達にも伝わっています。

行政参加タイプ

区の計画づくり等に参加する

練馬区では、さまざまな分野の計画づくりや事業実施の過程で区民参加が行われています。区役所などの会議室で多くの区民の方たちが集まり議論を重ねて、計画を検討したり、イベントの企画などをしたりしています。募集記事は、区報や区のホームページなどに載っています。

また、現在、自治の基本的なあり方、区民の区政への参加・参画や区民と区との協働の仕組みを定める「(仮称)練馬区自治基本条例」に盛り込むべき内容などについて、「(仮称)練馬区自治基本条例を考える区民懇談会」が設置され、区民の方々による議論が行われています。

学んだことを活かして会議に参加

～循環型社会推進会議の公募区民 小嶋良子さん～

練馬区循環型社会推進会議に、公募区民の一人として参加されている小嶋良子さん。環境の講座で学んだことを活かしたいという思いで、「(仮称)練馬区自治基本条例」をめぐって、区民懇談会に参加することになった小嶋さん。学んだことを活かして会議に参加することになった小嶋さん。学んだことを活かして会議に参加することになった小嶋さん。

三三池地帯の自然

賑やかな駅前をあとにして、木陰が涼しい都立石神井公園へ。休日にはボート遊びで賑わう石神井池は、かつて三三池から水路が引かれ、水田が広がっていたそうです。昭和8年、地元の人々が水路をせき止めて水田を掘って人工池を完成させました。これが現在の石神井池で、今も区民の憩いスポットとして親しまれています。

火事防止の取り組み

大正4年に武蔵野鉄道(現西武池袋線)の開通と同時に開業した石神井公園駅も、今年で90周年を迎えました。南口の駅前広場の片隅には、鉄道と駅の開業を祝った記念碑が建てられており、駅の歴史を感じさせます。一方、北口駅前にそびえる高層ビルは再開発事業により平成13年に完成した石神井公園ビルです。広場やバスステーション、周辺道路も整備されて姿を一新。かつて駅前にゴルフ練習場があったことも、遠い昔の風景になりました。

風情ある古刹めぐり

公園の自然を満喫した後、周辺に点在する寺社を訪ねました。三三池池南側の丘陵には、かつてこのあたりを治めていた甲斐世の武将豊島氏の居城である石神井城がありました。文明9年(一四七七)に太田道灌に滅ぼされ、今はわずかに残る空堀と土塁の遺構が往時を偲ばせています。城址の西側に石神井城内に創建したといわれています。近くには、応永元年(一三九四)創建で、太田道灌が下

匠の個性が伝わる筆作り

道場寺にほど近い、旧早稲田通り沿いにある筆工房龜井は、創業130年の歴史を持つ、区内唯一の江戸筆の老舗です。現在、4代目匠の亀井正文さんが江戸伝来の技法を継いでいます。亀井さんによれば、「書道用筆として使われる江戸筆は、根元までくすくす使った、さびき」と呼ばれています。一人の職人が手作業で仕上げているため、量産ができません。そうであるが、江戸時代中期から広く普及した江戸筆の需要が減少し、平成2年に江戸筆の保護育成を目的として、東京都の伝統工芸品に指定されました。

筆作り体験

「仕入れから完成まで2年掛かる江戸筆には後継者が少なく、製造だけを生業にする職人がほとんどに減ってきています。第一、道具職人が減少し、筆作りに欠かせない道具の確保が大変です。良質の原木も入手困難で、先を見越して確保している必要があります。今後は、将来を継ぐ職人が増えるように、既に息子さんが4代目を目指して修業されていることは嬉しいですね。」

練馬区の素敵な風景100選

あなたの知っている練馬区の素敵な風景を教えてください。みどり豊かな練馬区には、季節ごとに魅力ある風景があります。あなたの好きな風景を教えてください。季節ごとの風景を教えてください。季節ごとの風景を教えてください。季節ごとの風景を教えてください。

第2回「マシソン」未来塾のご案内

マシソンの管理運営に関する委員会とマシソン・トラブルの解決策についての学習会とマシソン・の情報交換会に参加してみませんか?